

イスラエル・パレスチナ・日本の若者がつくる 第14回『平和の架け橋』特別プロジェクト 2024

～共存の希望を求めて～

2024年8月4日（日）～17日（土）【14日間】

日本人のための 募集要項

プロジェクトについて

イスラエル・パレスチナを取り巻く中東和平は、75年もの間解決されぬまま、国際情勢に翻弄され、不安定な状況に置かれ続けてきました。オスロ合意の内容も実現せず、平和への機運が弱くなっていた中、2023年10月7日に発生したハマスによる攻撃が世界を震撼させ、その後今日まで続くイスラエル・ハマスの戦争はこれまで経験したことの無いレベルの人的被害と破壊を双方の社会に引き起こしています。これまでの和平に向けた試みは何歩も後退せざるを得ない状況となり、イスラエル・パレスチナの現場では平和と共存について語ることもできず、和平を訴える声に対して脅迫や厳しい批判も起きています。

認定NPO法人「聖地のこどもを支える会」は、草の根運動の力が、時には全世界に大きな影響を与える可能性があるかと固く信じ、ヨハネ・パウロ2世財団（エルサレム）の共催の下、2005年以来「平和のための交流プロジェクト」を実施し、イスラエル・パレスチナ・日本の若者を対象に平和に向けた対話の機会を提供してきました。このプロジェクトは東京、広島、長崎、長野、仙台、さらにイスラエルとパレスチナでも行われました。また、東日本大震災後は「平和の架け橋」というプロジェクトとして、5年連続（2011年～2015年）で3か国のプロジェクトメンバーが東北の被災地でボランティア活動を行ってきました。本プロジェクトは約20年間にわたる取り組みを通じて確実に目に見える成果を上げ、100名以上の参加者を輩出してきました。

平和への機運がこれまでになく厳しい状況に置かれている中で、将来真に永続的な平和を実現したいと考えている若者の熱意と希望を見捨てることはできません。今このタイミングでできることは、平和に対して最も情熱と熱意を持っている元参加者たちに、再び互いに対話する機会を提供し、共に痛みや、自国の将来についてしっかりと見据えてもらうことではないかと考えています。

こうした背景から、今年度のプロジェクトは、イスラエルとパレスチナの過去の参加メンバーを日本に招待し、日本人の元参加者とともにもう一度平和について見つめなおし、ピースビルダーとしてのとても険しい、しかしかつてなく重要なミッションへの再確認を行います。

プロジェクトはコロナの時代を除きほぼ毎年続けて、今年は14回目、長崎と東京で実施します。人類の残虐な歴史を今も象徴する都市の一つである長崎で平和を希求する想いに触れながら互いの想いを共有し、東京ではその力強いメッセージを発信することを期待しています。

プロジェクトの目的

プロジェクト期間中、参加者は共に共同生活を送り、困難を乗り越え、多様性を受け入れるため互いに向き合います。また、「平和（共存）への道」を共に見つけ、真に平和を育む人材として生涯にわたる友情を育みます。

- ▶ グループ内で耳を傾け合い、互いを尊重し思いやる姿勢を身につける
プロジェクト中に実施する対話やワークショップでは、イスラエル・パレスチナの参加者が紛争にまつわる自らのストーリーを分かち合い、「相手の状況」に理解と共感を示して、紛争への理解を深めます。日本人参加者は、相手の話に耳を傾ける姿勢を見せ、受け入れやすい環境を作り理解を深めることを先導します。
- ▶ 長崎に学ぶ
原爆投下の経験を今に継承する長崎を訪れ、原爆爆心地と資料館の見学、被爆者の話を聞くことを通じて、平和を希求する手がかりを探します。
- ▶ ボランティア活動を通じて協力することの喜びを学ぶ
美しい自然の中でのボランティア活動や野外活動を通じて、協力する喜びを体験します。

プロジェクトの活動を通じて、以下の**目標の達成**を目指します。

- ▶ 平和構築者であるという確固たる自信を確認し、培うこと
参加を通じて協力して得た知見と理解を基に、プロジェクト終了後は相互理解と和解に基づく平和共存は可能であることを友人や家族に伝えることができるようになる。
- ▶ 社会の長期的な安定化に貢献するための心構えを培うこと
参加した若者たちが、中東における平和構築の重要な役割を共に担っていくことを強く期待しており、彼らがこのプロジェクトで得た新たな知識や友情は将来、平和をつくる担い手として働く際の貴重な支えとなるに違いない。
- ▶ 日本人への平和のメッセージ発信者となること
今回のプロジェクトでは、日本の支援者らとの文化交流に加えて、一般市民に向けて共同メッセージを発信する機会を設ける。それは平和を願い、自分たちが平和的な共存、人権に基づく真の平和を達成するための熱意と決意を示すものになるだろう。このようなメッセージを発信することは、日本の聴衆が真に中東での平和を希求することの重要性を理解し、国際的な連携を深めることにつながる。

プロジェクト概要

主 催	認定 NPO 法人 聖地のこどもを支える会 (Helping Children in the Holy Land)
共 催	財団法人 ヨハネ・パウロ 2 世財団 (イスラエル・パレスチナ) (John Paul II Foundation for the Middle East)
後 援	独立行政法人 国際協力機構 (JICA) カトリック長崎大司教区
日 程	2024年8月4日 (日) ~ 17日 (土) 【14日間】
活動地域	1) 長崎: 8月4日 (日) ~ 8月13日 (火) 2) 東京: 8月13日 (火) ~ 8月17日 (土) 【JICA 東京国際センター】
集 合	2024年8月4日 (日) 福岡国際空港
解 散	2024年8月17日 (土) 東京 (JICA 東京国際センター)
活動内容 (予定)	<ol style="list-style-type: none"> 1. <u>共同生活</u>: 3カ国の若者が、長崎及び東京において2週間の共同生活を行い、「平和共存」の可能性や、相互理解と相互受容の大切さを体験し、友情の絆を結びます。 2. <u>「平和と紛争」「命の尊さ」についての学び</u>: 紛争国に住む若者たちの困難や怒り、不安や希望などを知る。また、長崎で平和祈念資料館訪問などを通じて戦争・紛争の愚かさや平和の大切さについて認識を新たにし、人々の苦しみや悲しみに共感する心を養います。 3. <u>ボランティア活動</u>: 長崎での福祉施設、老人ホームでのボランティア活動をとおして、助けを必要としている人々に寄り添い、奉仕する心を養い、共に協力して働く喜びを味わいます。 4. <u>ワークショップと対話</u>: 長崎・東京でのワークショップや交流の体験、とくにイスラエル・パレスチナ参加者の紛争体験を共有し、平和構築の具体的な「道」について考えます。 5. <u>平和のメッセージ発信</u>: 長崎・東京で、支援者や過去のプロジェクト参加者を含む市民を交えた「平和のシンポジウム」を開催。プロジェクト全体を振り返り、若者たちが「平和のメッセンジャー」として、一人ひとりの「いのち」の大切さを訴え、平和達成への道を進む夢と希望を発信します。 6. <u>長崎でホームステイ (未定)</u>

- | | |
|--|---|
| | 7. <u>オルガンコンサート</u> ：戦争や紛争、災害などすべての被災者の鎮魂のため、浦上天主堂でコンサートを実施します。 |
|--|---|

募集要項

募集人員 ・対象	平和構築に関心ある若者 若干名 (イスラエル・パレスチナからの参加者は6～7名)
参加費	10万円 (分割払いも可・要相談) * 上記参加費には、プログラム全行程中の一人分の交通費、宿泊費、食費(1日3食、ただし自由時間中の食費/交通費は除く) ボランティア活動保険料が含まれます。(事前・事後研修費は、別途定めます。) * 当プロジェクト実施に関するその他の経費は、当法人の支援者の寄付によって賄われます。 * 自宅から研修会場 or 集合地までの往復交通費、および自由時間中の食費、交通費は、自己負担とします。
応募条件	<ol style="list-style-type: none"> 1. 当プロジェクトの目的に賛同して、将来にわたって「平和をつくる」ために積極的に働く意志をもっていること 2. 互いに相手の多様性を受け入れ合う協調性をもっていること 3. プロジェクト後も継続して、当NPOの平和活動に協力する意志をもっていること 4. 事前・事後研修に必ず参加し、その前後に出される課題に取り組むこと 5. プロジェクト終了後にレポートを提出すること 6. 参加者同士で会話及びディスカッションができる程度の英語力を有し、コミュニケーションが取れること 7. プロジェクト中の行動ルールを遵守すること
選考方法	書類選考と面接
応募方法	参加申込書(別紙)を下記メール先に提出(顔写真も添付)してください。 添付のアンケート回答は必須です。 info@peace-ilpsjp.org (件名を「平和の架け橋に応募(氏名)」と記載) *面接：書類選考後、面接日時・場所を個別にお知らせします。
応募締切	2024年6月15日(木)
事前研修 と 事後研修	当プロジェクト参加者として選出された方は、必ず下記の事前・事後研修に参加してください。 事前研修【必須】



	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 日時：（未定） 2024年7月に2回（日にちは追って通知します。） ➤ 場所：JICA東京国際センター（東京・幡ヶ谷） ➤ 参加費：10,000円(宿泊・朝食・セミナールーム代込み) 2回分 ➤ 目的： <ul style="list-style-type: none"> ◇ イスラエル・パレスチナの基礎情報および「両国の紛争の歴史と実情」について学ぶ。 ◇ 「命」「平和」「絆」「連帯」「和解」などをテーマに、平和とは、人間とは何かを考え、参加者同士で共有する。 <p>事後研修（1回実施予定） 日程・参加費：未定（プロジェクト完了後、1ヶ月以内に実施予定）</p>
--	--

認定NPO法人 聖地のこどもを支える会

〒164-0003 東京都中野区東中野 5-8-7-502

Tel & Fax : 03-6908-6571

携帯電話 : 090-6538-3255

email: info@peace-ilpsjp.org

URL: seichi-no-kodomo.org